

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

| | |
|------------------------|--|
| 研究計画書番号 | RPA2-15 |
| 研究課題名 | 日本人を対象としたがんの危険因子に関するコホート研究の統合解析への参加の提案 |
| 研究責任者（所属） | 歌田真依（放射線影響研究所） |
| 試料・情報の利用目的及び 利用方法 | 利用目的： 放影研は、国立がん研究センターの「国内外研究連携基盤の積極的活用によるがんリスク評価及び予防ガイドライン提言に関する研究班」に参加しています。この研究班は、日本で実施されている代表的な疫学調査を統合することにより、日本人におけるがんの危険因子（例えば喫煙）についての精度の高い情報を得て、日本人に適したがんの予防法を提唱することを目指しています。 利用方法： 放影研の寿命調査の対象となっている方のうち、1878年および1991年に実施された質問票調査に参加し、被曝線量が比較的低い方を対象とします。これらの方々の質問票調査の結果と、正式な手続きを踏んだ上で取得したがんや死亡・死因の情報をを用いて、放影研の研究者が、様々ながんの危険因子についての計算値を求めます。放影研の、また放影研以外の疫学調査より研究班へ提供された計算値を統合することにより、より精度の高いがんの危険因子についての情報が得られます。 |
| 他の機関への提供の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：国立がん研究センター） <input type="checkbox"/> 無 |
| 利用し、又は提供する 試料・情報の項目 | 質問票調査の結果と、がんや死亡・死因の情報をを用いて、放影研の研究対象となっている方々についてのがんのリスクに関する計算値を求めます。この計算値を国立がん研究センターの研究班へ提供します。個人単位の情報は提供しません。試料は利用も提供もしません。 |
| 利用する者の範囲 | 放射線影響研究所 歌田真依 坂田 律 杉山裕美 小笹晃太郎 国立がん研究センター 井上真奈美 |

| | |
|-------------------------|---|
| | 「国内外研究連携基盤の積極的活用によるがんリスク評価及び予防ガイドライン提言に関する研究班」の班員のうち研究班による承認を得た者 |
| 試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称 | 小笹晃太郎（放射線影響研究所疫学部） |
| 統括個人情報保護管理者 | 放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀 |
| 問い合わせ先 | 【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131 |